

ある少女の日記から

[2014-04-30 \(Wed\)\[子供たちの話題\]](#)

今日の主人公はこのお姉さん、ミチュ(11)。



アブーアリ寮から学校に通う。小学新5年生。

・・・非常に勉学に熱心で、
学校の表彰状を3枚もカッサラってくる文武両道に長けた才女だ。

また、彼女は熱心に日記を書いている。
そこには彼女の素直な思いが綴られているのだが、
最近、悩み事が増えてきた。

『働きたい。兄弟のために、稼がなくっちゃ。』

11才の娘が、日記に書く事とは思えない。何か問題があるのだ。
長くなるけど、問題を探ってみよう。



彼女の兄弟は全部で5人。
母親は共通だが、父親が3人居る。

上の3人が第一父の子供。

1番目の兄(20)は日雇いの仕事に出ている。普段は家にいない。

2番目の兄(17)は現在の父親と仲が悪く、家を出た。

3番目が彼女本人。

4番目の妹ミペー(8)は第二父の娘。ミチュと一緒にアブーアリ寮にいる。

5番目の妹もいる。3歳。第三父の娘。年齢が低すぎて、アブーアリでは面倒が見れない。

そして、肝心の母親が去年の暮、デング熱で他界してしまった。

結果、実家には飲兵衛の第三父と3才の娘、ふたり暮らしだ。

夏休みの現在は、ミチュ、ミペーが里帰りしている。



子供たちは全員、出生証明書がない。

すなわち家族全員が、IDカード(国民証)を持っていない。人間として認められていない同然の立場だ。

父親はIDカードがないので、まともな職に付けない。勢い、毎日飲んだくれてる。

当然子供たちの面倒なんてみてない。

お姉さんのミチュが一番心配しているのは、この3歳になる妹のことだ。

普段、寮で寝泊まりしているミチュは、心配で心配で、勉強が手に付かなくなってきた。

何しろ、

『今、現在の生活をなんとかしなくっちゃ!』……と言う思いで、

彼女の頭はいっぱいなのだ。

だから、『働きたい。稼がなくっちゃ。』……という日記の記述になった。

アブーアリにいる子供たちは、それこそ、日々の衣食住はアブーアリが提供しているが、学校関係で臨時に必要な出費、例えば制服代、行事代などは、親が面倒をみている場合が多い。

しかし、ミチュ、ミペーはそれを提供してくれる親が居ない。

現状では、アリヤがポケットマネーから支出している。

そんな事も、彼女は敏感に感じ取っているのだろう。

母親の死から半年も経っていないというのに、追い討ちを掛けるように大問題が発生した。

先月末、暑季嵐が襲ってきて、暴風雨に特大の雹(ひょう)が混じり、彼女の家の屋根が飛ばされてしまったのだ。

もはや、アリヤのポケットマネーでカバーできる範囲を超えてしまった。

どうしたら、ミチュを助けられるか？

アリヤは考えた。

ミチュは優秀な娘であるから、勉強を続けさせたい。

出来ることなら、中学から市内の優秀な中学校に入れたい。

高校を卒業することで、IDカードの取得が可能になる。

家族にも道が開けてくる。

まずは、人間並みに扱ってもらうための、IDカードは必須なのだ。

そのためにも、現在の彼女の悩みを取り除いて上げることが第一に求められてる。

まずは、彼女が安心して勉強を続けられる環境を……。

現在、アリヤはこのように考えている。

しかし、そのための具体策が、まだ何も見えてこない。

新学期は、5月中旬に始まる。